

「まち」の企業訪問 元気じるし登場

216 山ノ家 カフェ&ドミトリー (松代町商工会)



スタッフの皆さん (右から2番目が池田史子さん)

新潟県十日町市松代地域は、美しい日本の原風景が広がり、大地の芸術祭の地域拠点・まつだい農舞台があり、年間を通してアート作品が楽しめます。今回は、『山ノ家 カフェ&ドミトリー』を訪ね、池田史子さんにお話を伺いました。

「街並み景観再生」にかかわる

2011年、縁あって「十日町市松代地区街並み景観再生事業」での古民家再生の話が舞い込んだ。そこで、若井さん(現商工会副会長)に出逢ったことが『山ノ家』の始まりである。芸術祭や、土地の豊かさに惹かれ、ひいては大きな人的支援に



を稼働させることが出来た。芸術祭とともに駆け抜けた2012年の夏が過ぎ、今後は地元根を張り、ここに住む人達に共感してもらえるような店になりたいと、地域行事にも積極

も支えられ、新しい事業をスタートさせることを決意した。

商工会のサポートで資金調達を行ない、地元業者の協力を得て、芸術祭開幕直後の8月10日に1Fのカフェがオープン、9月初旬に2Fの宿泊施設

的に参加・出店している。地元食材を使ったオリジナルの「移民の料理」が評判で、子供連れのお客さんも多く訪れている。

“ダブルローカル”な暮らし

実は当初から完全移住は考えておらず、そもその目的は、東京と松代を行き来する“ダブルローカル”を実践することだった。カフェや宿泊施設の運営は、あくまでも手段。この地を第2の拠点にするため、自分達に必要な「食べる・寝る・ネット環境」を備えた“居場所”を作った。それが『山ノ家』であり、共感してくれる人達とここをシェアするという考えのもと、宿泊費というより、シェアスペースの維持費をカンパしてもらっているというスタンスだと言う。

独自のネットワークで、アーティスティックイベントや、自主的な農業体験ツアー等も企画し、首都圏や地域内外からの誘客にも大きく貢献している。

地域との交流・共栄共存

商店街にできた久しぶりの新店舗。地元飲食店の方々に声をかけてもらい、特産品等を使ったメニュー開発にも加わり、試

食会も山ノ家で開かれたという。地域の方々から教わることも多い。その中で、眠っている宝物(資源)をどう活かしたら良いか、一緒にアイデアを出して発展させていく...。

「こういうことをしなきゃ」という気づきは、住んでいる人達にはかなわない。地域の方々と創りあげていくものも多い。それらが結果的に新しい産業や雇用に繋がっていったら嬉しい、と池田さんは話す。

今後について

今夏、山ノ家をスタートさせて1年が経ち、ようやく第2フェーズに立った。これからは大きく3つの活動を育てていきたい、とのこと。

山ノ実プロジェクト

休耕地など茶色くなった土地を緑に戻すこと。社会的な活動に興味を持つ若者やボランティアの力を借りて、実がなる木を植樹し、新しい特産品作りに繋げる。そんな、モノが生み出せる土地に戻す活動を始めたい。

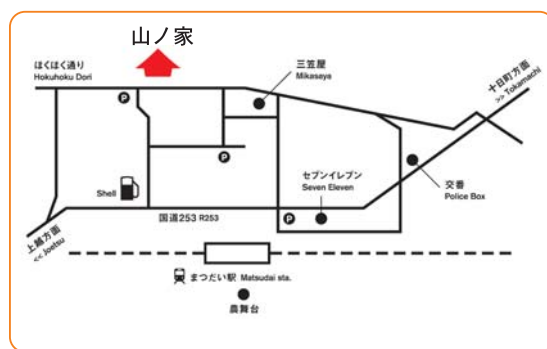
アーティストの応援

欧米では多様な形でアーティストの創作活動をサポートしている。風光明媚な土地であり、空き家等をアーティストインレジデンスとして活用していくことを提案していきたい。

地元工芸の再編集のお手伝い

織物や和紙などの伝統工芸、そして近現代の手工芸にも優れるこのエリアのすばらしい技術や産物などを再編集して、新たな魅力をPRするお手伝いもできればと願っている。

定住ではなく、ダブルローカルという暮らし方。だからこそ生まれる、新しい発想と発信力に大きな期待が寄せられている。



【お問い合わせ】

山ノ家 カフェ&ドミトリー

〒942-1152

TEL 025-5159516770

MAIL info@yama-no-ie.jp

URL http://yama-no-ie.jp/

定休日 火・水・および毎月第一週

営業時間 午前11時30分〜午後6時 (朝食・夕食はご予約にて承ります)